



回向院

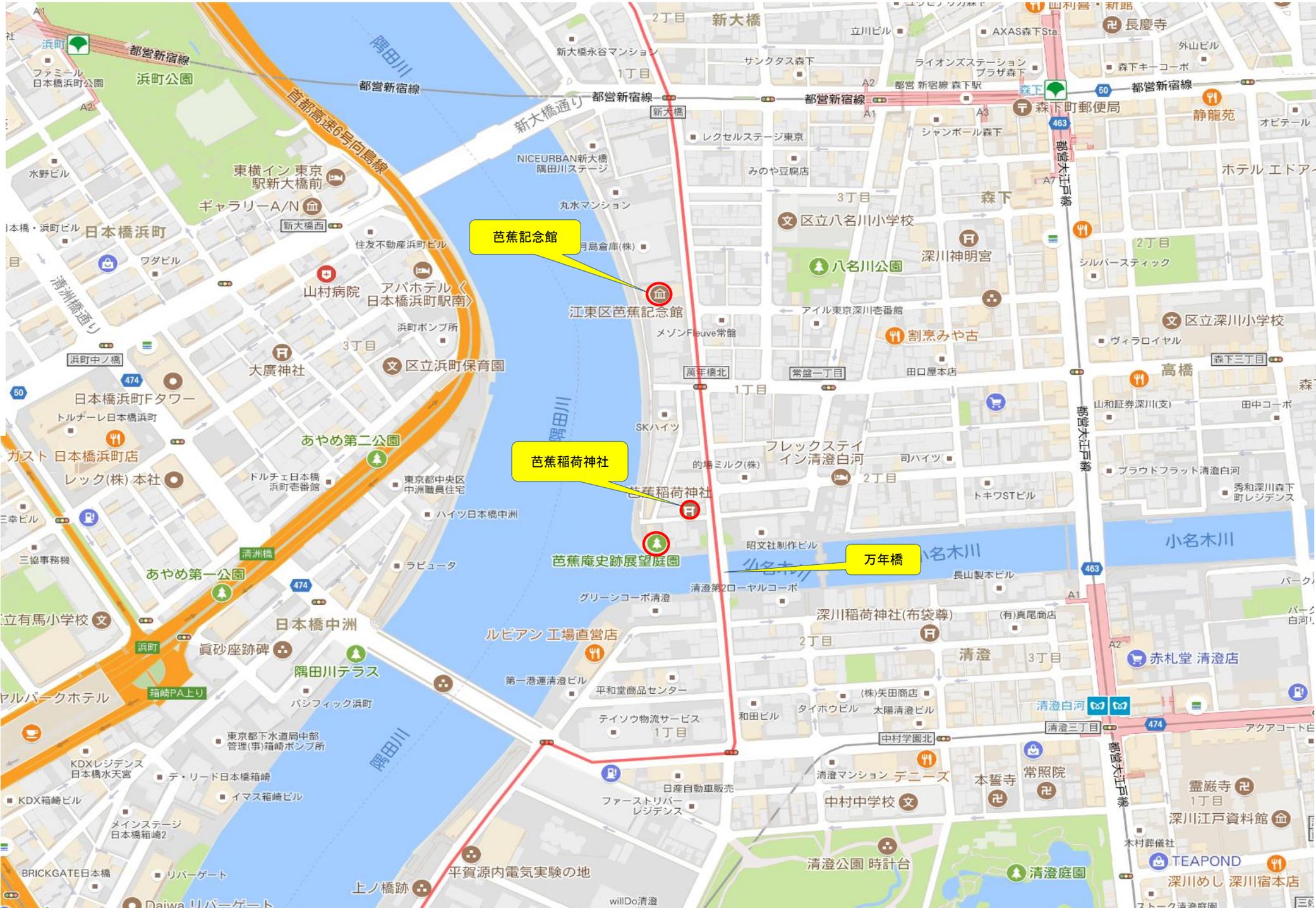
勝海舟生誕地

吉良邸跡

一之橋

前原伊助宅跡付近2丁目3番

要津寺



芭蕉記念館

芭蕉稲荷神社

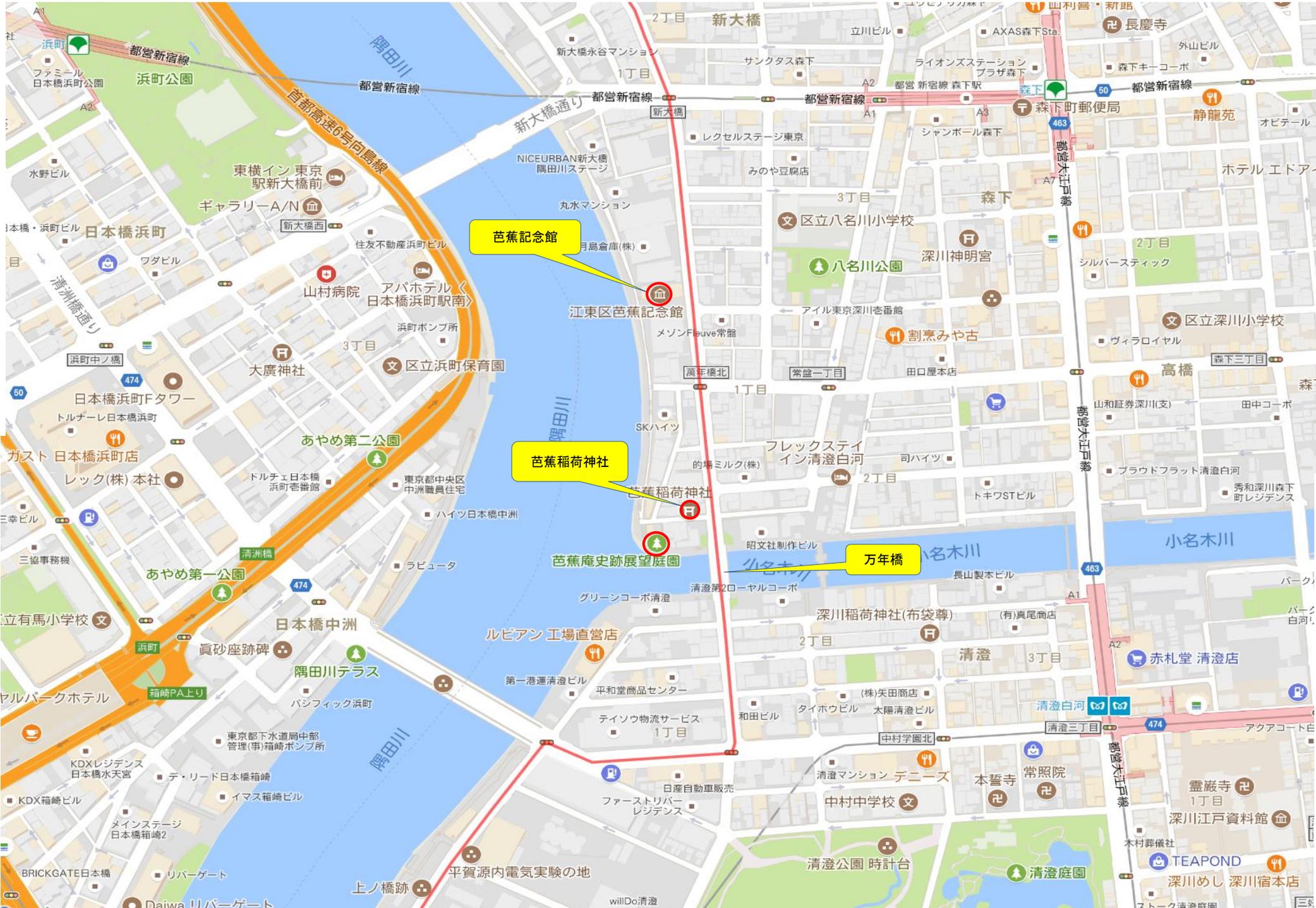
万年橋

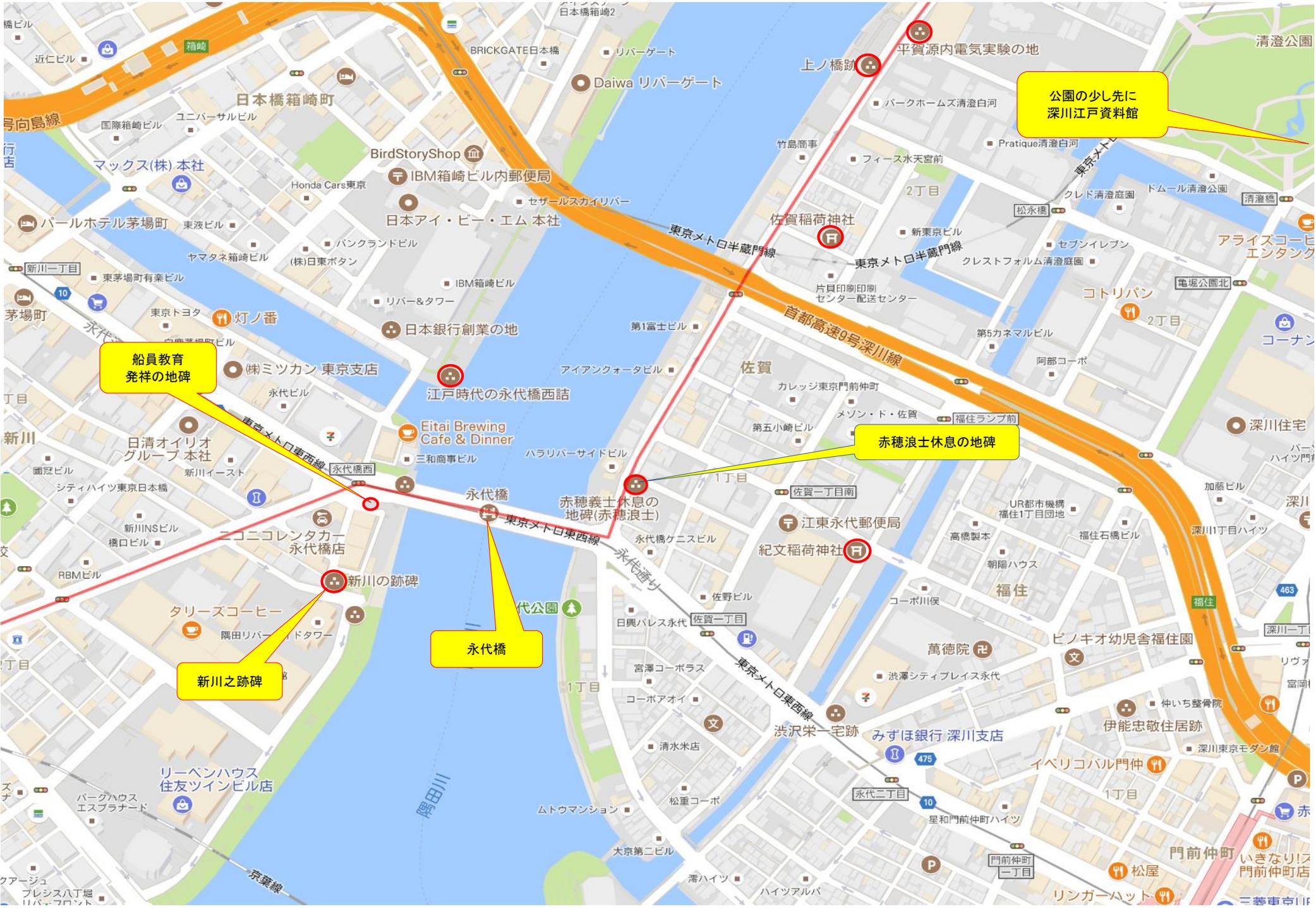
江東区芭蕉記念館

芭蕉稲荷神社

芭蕉庵史跡展望庭園

深川稲荷神社(布袋尊)





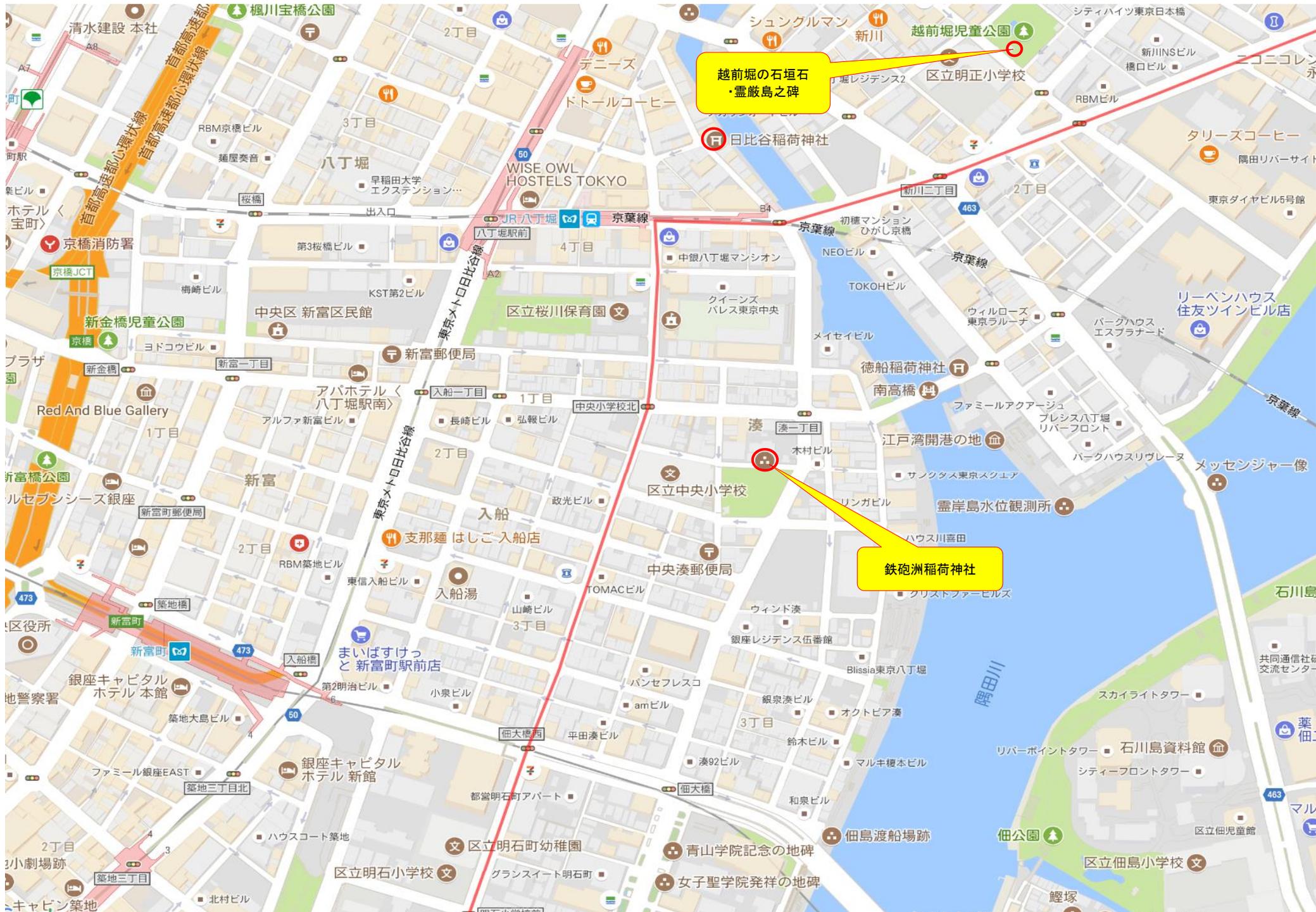
公園の少し先に
深川江戸資料館

赤穂浪士休息の地碑

永代橋

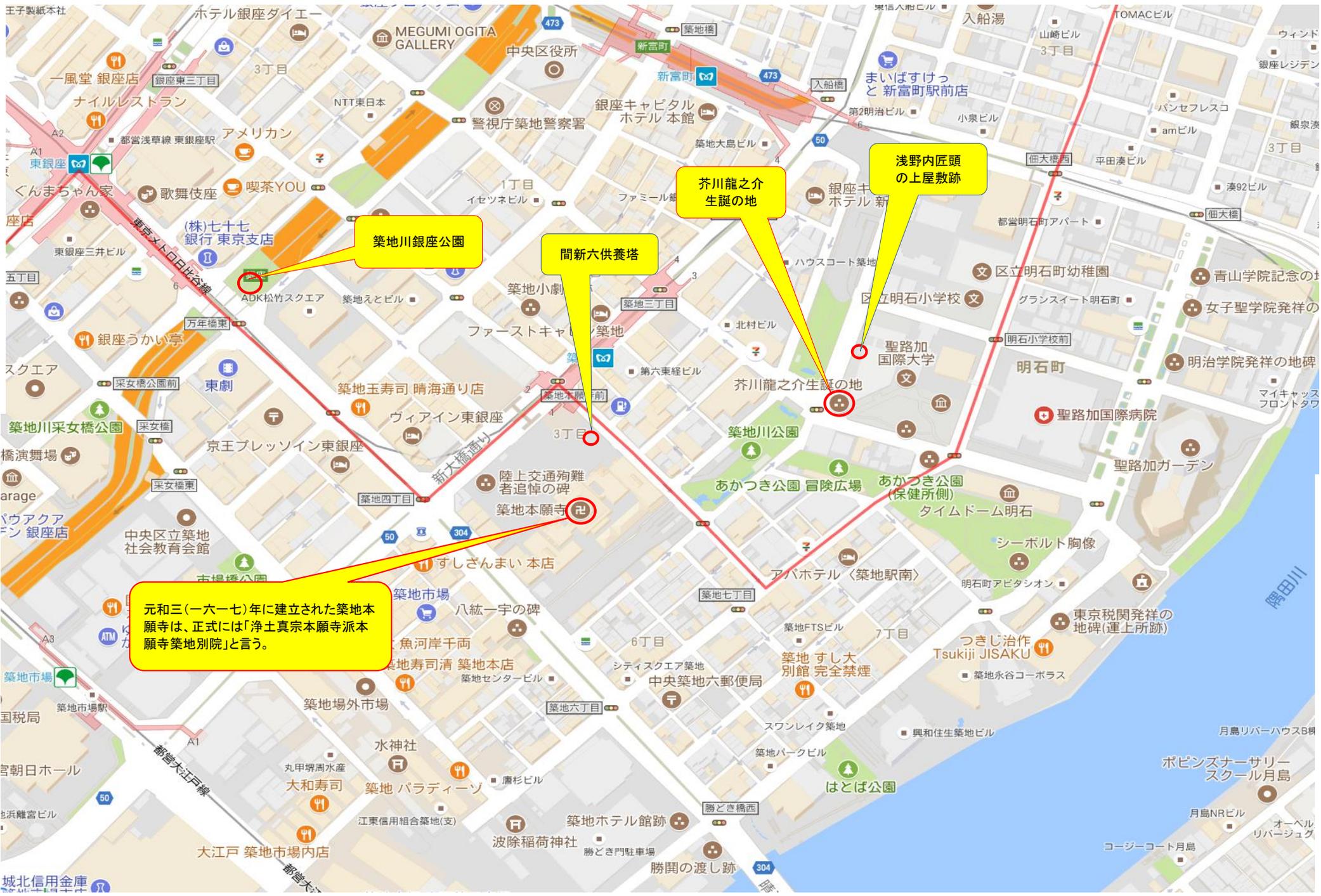
新川の跡碑

船員教育
発祥の地碑



越前堀の石垣石
・霊巖島之碑

鉄砲洲稲荷神社



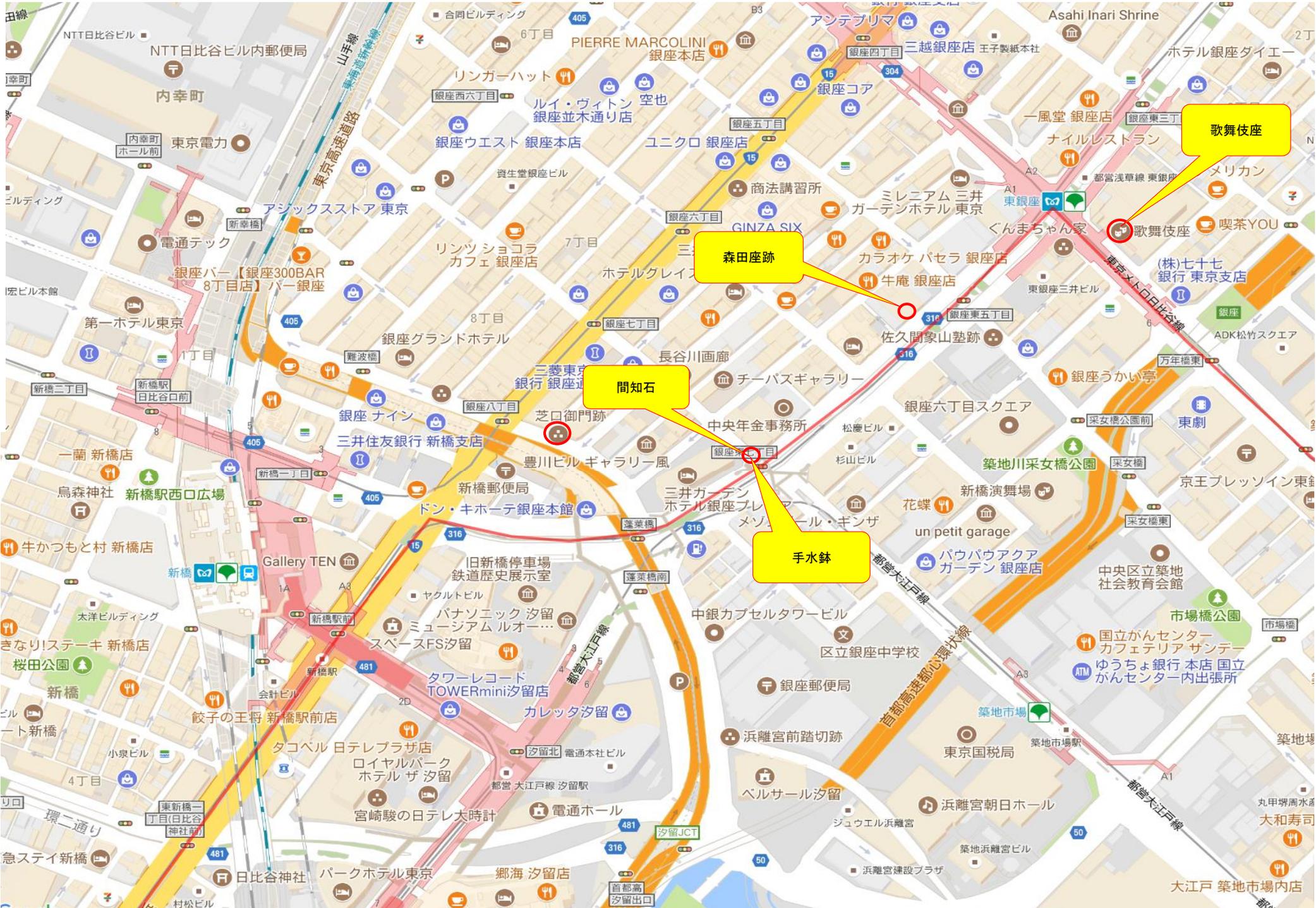
築地川銀座公園

間新六供養塔

芥川龍之介
生誕の地

浅野内匠頭
の上屋敷跡

元和三（一六一七）年に建立された築地本願寺は、正式には「浄土真宗本願寺派本願寺築地別院」と言う。



歌舞伎座

森田座跡

間知石

手水鉢

浅野内匠頭
終焉の地の碑

江戸時代、この公園の場所は、仙台藩主伊達家の中屋敷内にあり、監電(しおかま)神社の境内になっていました。
この神社は、はじめ元禄8年(1695)に今の東新橋にあった伊達家上屋敷内に領地の監電神社本社から分霊を迎えて祀(まつ)られていたものが、安政3年(1856)に移転され、邸内社として祀っていた。

東海道沿線で江戸市中と市外の境界線上(近くに金杉橋あり)に鎮座し、増上寺も隣接することから、江戸時代に入って参詣者が増え、江戸から出府する旅人にとっては道中無事を、入府する旅人にとっては道中無事の報賽をといった祈願が行われた。





西応寺は、光蓮社照管明實上人(応永5年1398年寂)が開山となり創建、徳川家康が江戸に入府した天正19年(1591)には寺領10石の御朱印状を拝領、当時の住職観蓮社智管存問大和尚が中興となったという。

真宗大谷派寺院の法泉寺は、光明山と号す。法泉寺の創建年代は不詳ですが、釋純楠(元和5年1619年寂)が開山となり、芝西応寺町に創建したという。



勝海舟・西郷隆盛
会見の碑

鬼女紅葉退治の満願成就の仏徳を仰ぎ 武石郷上平に堂宇
を建立。行基菩薩作の一刀三禮の阿弥陀仏をここに安置し
「称念寺(しょうねんじ)」と称した。この時は天台宗寺院だったと
いう。(住僧等の記録は不詳)

御祭神は"宇迦御魂命(うかのみたまのみこと)"。
神社の中には、港区指定有形文化財の"弥陀種子板碑"がある。

齋海寺は、1621年(元和7年)牧野忠成と念無聖上人によって創設。越後長岡藩藩主家牧野氏や伊予松山藩主家松平氏及びその定府家者が江戸での菩提寺として使用。現在は最初のフランス公使宿館跡として碑が境内に残されている。





赤穂浪士は一般に「四十七士」と呼ばれるが、泉岳寺の赤穂義士墓地には討入り以前に自害した萱野重実(三平)の供養墓を含め48基の墓塔がある。48基のうち、この萱野三平と、遺骸を遺族が引き取ったため泉岳寺には埋葬されていない間光風(新六)、そして討入りに参加した浪士の中で唯一人切腹をまぬがれた寺坂信行(吉右衛門)の墓塔は、遺骸の埋葬を伴わない供養塔である。なお寺坂以外の浪士の戒名はすべて最初の文字が「刃」となっている。

赤穂義士墓所配置図

